



ともだち

新学期が始まって、間もなくひと月になります。子どもたちは、新しい学年や学級に少しずつ慣れてきたのではないのでしょうか。中には、まだ慣れずに学校へ来るのがしんどい子もいるかもしれませんが、自分が折り合いをつけられるところから始めて、頑張れる分だけ頑張ってもらいたいと思います。もしかして、明日から始まる大型連休で振り出しに戻ってしまうことがあっても、まだ始まったばかりです。あせらずもう一度やり直せばよいと思います。

今年も始業式での講話後に、2年生以上の子どもたち全員に「今年度を楽しい学校にするために、何を頑張ったり挑戦したりしたいですか？」とたずねる手紙を書きました。この手紙を書き始めてからもう5年目になるのですが、子どもたちは毎年しっかり考えて答えてくれるのでうれしいです。年々児童数が増えて返事を書くのも一苦勞ですが、新年度になって頑張ろうとする子どもたちの気持ちを、少しでも後押しできれば、と思って続けています。

子どもたちからの答えは、低学年では「勉強を頑張りたい」など自分に関することを書く子が多いのですが、学年が上がるにつれて、責任感のある言葉や「みんなの役に立ちたい」という意見が多くなってきます。しかし、どの学年でも一定数見られるのが友だちとの関係についてです。「友だちと仲良くしたい」や「友だちをたくさん作りたい」といった答えが、学年を問わず多くあります。それだけ学校において、友だちの存在は大きいものなのです。もしかすると、先生以上なのかもしれません。

しかし、友だちは、時に学校生活の悩みの種になることもあります。

私が小学校6年生の時のことです。理由は覚えていないくらい些細な^{ささい}ことだったと思うのですが、男子の中でちょっとした言い合いが起こったのをきっかけに、だんだん2つのグループに分かれ、やがて大きな対立が生まれました。最初は男子だけだったのですが、お互いが張り合ううちに女子も巻き込み、とうとうクラスが真っ二つに割れてしまいました。(実際には関わっていない子もいたと思いますが、当時はそんな雰囲気でした。)はじめのうちは、お互いに口をきかない程度だったのが、次第にエスカレートしていきました。そして、陰での悪口や落書き、持ち物へのいたずらなどが、毎日ではないものの、しばらく続くようになりました。

今のように SNS のない時代でしたが、人間悪いことを思いついたらコソコソやるのって本当に上手ですね。担任の先生は知っていたのかどうかわかりませんが、自分たちにもやましいところがあるので、やってもやられても先生には、一切言うことはありませんでした。もちろん、親にもです。表面上は普通の毎日でしたが、陰湿な雰囲気が、1か月以上続いたように記憶しています。

しかし、そんな居心地の悪い状況にいつまでも耐えられるはずがありません。3学期になると、私は、このまま卒業するのが嫌



になりました。そして、この状況を何とかしたいと意を決して学級会で提案することにしたのです。当日、まるで針のむしろのような中で発言をしているうちに、私は、途中で泣いてしまいました。そして、それを非難する子や逆に私をかばう子などで、そこでもかなりの言い合いになったことを覚えています。今思うと、昭和の学級会は、結構激しかったのです。

学級会は、何時間も続きました。その中で、お互いしたことやされたことを出し合いました。嫌だった気持ちも出し合いました。でも、両方が同じことをしているので、どちらもどっちです。そして、言い尽くした最後に、これからどうするかという話になりました。すると、これまでの争いとは打って変わって、みんなで握手をするという何とも平和的な結末でこの騒動は幕を閉じたのです。やっぱり、みんな心のどこかで何とかしたいと思っていたのではないのでしょうか。

もし、今の時代にこんなことが起こると、学校に行きたくなくなる子が出てくるのではないかとと思いますが、その当時、不思議と私は、学校に行きたくないとは思いませんでした。それは、きっと自分の周りに友だちがいたからでしょう。友だち同士の反目^{はんもく}を友だちが支えるという不思議な構図でしたが、決して自分が独り^{ひと}ぼっちではなかったことだけは確かです。

そして、あれから50年近くたった今年の入学式で、楽しく学校で過ごすために一番大切なものとして「ともだち」という言葉を、かぶてんちゃんが教えてくれる形で1年生に伝えました。それは、学校を楽しくするのも、つまらなくするのも友だちだからです。学級はある意味寄せ集めの集団なので、自分の気に入る人ばかりが集まるわけではありません。ですから当然、いろいろなトラブルも起こるでしょう。だからと言って、意にそぐわない相手を傷つけたり、排除したりすることがあってよいのでしょうか。学校は、子どもたちが将来社会に出た時に、他者との望ましい関係を作る力を身に付ける場所であると考えています。そして、天王寺小学校の子どもたちには、私のようなつらい経験をすることなく、友だちとより良い関係を築いていってほしいと願っています。

大阪市では、今年も大型連休明けの月曜日は、「いじめ(命)について考える日」です。子どもたちには、ぜひこの機会に「ともだち」について、あらためて考えてほしいと思っています。



今年もいよいよやって来ます



今年度の運動会は、5月30日(土)に行います。本校に赴任するまでは秋の運動会しか経験がなかったので、はじめは春開催の運動会にちょっと違和感がありましたが、今では、5月に入ると、「いよいよだな」と感じるようになりました。ただ、校舎建築に伴って、来年以降しばらくは、学校での運動会の開催ができないので、いろいろと知恵を絞る必要があります。(来年度は、天王寺中学校のグラウンドをお借りして実施する予定です。)

今年の運動会では、これまで2学年でしていた団体演技を各学年で行ったり、一部の学年で団体競技を取り入れたりするので、より盛り上がるものになるでしょう。これから気温が高くなる時期になるので熱中症対策をしながら、なおかつ指導も過熱しすぎないように留意しながら取り組みをすすめていきたいと思っています。ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。